

社会医療法人玄州会
光武内科循環器科病院

広報誌

Vol. 3

2023年 2月号

かたつむり

副院長あいさつ

社会医療法人 玄州会 光武内科循環器科病院
副院長 大田黒 滋



みなさんこ
んにちは。副
院長兼診療部
長の大田黒と
申します。平
成21年4月

に九州大学病院総合診療科よ
り出向し、14年が経とうと
しています。

当初は2年間の予定で家族
と杵岐に住んでいましたが、
光武理事長の熱い想いと杵岐
の方々の温かさに触れ、家族

今月の目次

- ・副院長あいさつ
- ・診療変更
- ・感染委員会
 - ・季節のメニュー紹介
 - ・花粉症について
 - ・スタッフコラム

は6年目より福岡に戻りまし
たが、私はプチ単身赴任で杵
岐に残ることとしました。長
女は杵岐に来たときは郷ノ浦
幼稚園の年中さんでした。彼
女は今年の1月に大学を目指
して大学入学共通テストを受
けました。いつの間にかこんな
に大きくなっちゃったんだろ
うと嬉しかったり切なかった
り。長男も次は高校1年生、
杵岐で産まれた次女は中学1
年生と、それぞれが次のステ
ージへと着実に向かっていま
す。そんな子ども達を支えて
くれた妻には感謝の限りで
す。

では仕事の話に移りましょ
う。普段は2階の病棟で勤務
しております。元々は一般病
棟と呼ぶ急性期病棟で救急車
や外来からの緊急入院の受け
入れを行い、治療を行って
いました。現在も受け入れ体制
や治療には大きな変わりはない
りませんが、時代の流れと
も言えます。一部は急性期病
床を亜急性期病床として稼働

したり、地域包括病床として
稼働したり、現在は一般病棟
全体を地域包括病棟として稼
働しており、救急車や緊急入
院の受け入れを行いながら、
検査入院やレスパイト入院を
受け、いずれにおいてもリハ
ビリテーションを強化し、自
宅退院を目指しています。入
院患者さんは平均80代で、
自立されている方もいれば寝
たきりの方もいらっしゃいま
す。多くの合併症を抱えてい
る方が多いです。また、入院
の契機となった病気が治って
も、何らかの介助が必要であ
ったり、高齢で独居であった
り、老老介護、認知介護であ
ったりとギリギリで生活され
てあった方も少なくはなく、
退院後の生活を守るためにカ
ンファレンスを繰り返し行っ
ています。週に1回は医師、
看護師、理学療法士、作業療
法士、ソーシャルワーカー、
管理栄養士、薬剤師が集まっ
てカンファレンスを行い、退
院に際しては、介護サービス
を受けている方の場合、家
族とともに担当のケアマネー
ジャー、デイケア・デイサー
ビスの相談員や、訪問看護・



訪問介護の担当者、福祉用具
や自宅改修の担当者も含めて
カンファレンスを行い、安心
して退院後の生活を送られる
ように考えています。入院さ
れて、困ったことがあればど
んどん相談して下さい。外来
でも相談室がありますので是非
活用していただければと思
います。

最後になりますが、私たち
が患者さんにできることがも
っとたくさんあります。しか
し人手不足で限界もありま
す。興味のある方は気軽に声
をかけて下さい。私たちと一
緒に患者さんを支えていきま
しょう。

(おわり)

令和5年4月1日より下記診療体制となります

外来のご案内

予約受付時間 15:00~17:00

予約・変更・問い合わせ (0920) 47-0023

●印は予約外来、前日までの予約をお願いします。○印は当日受付外来です

	月	火	水	木	金	土
内科再来※1	●光武新人	●光武新人	●空閑 毅	●光武新人 ●空閑 毅	●空閑 毅	●空閑 毅
内科新患※1	○08:30~09:30 光武新人 ○09:30~ 光武良晃	○08:30~09:30 光武良晃 ○09:30~ 藤野剛雄	○頼 嘉珀AM ○光武良晃PM	○08:30~09:30 光武新人 ○09:30~ 光武良晃	○頼 嘉珀AM ○頼 嘉珀PM (第1・2) ○光武良晃PM (第3・4・5)	○08:30~09:30 頼 嘉珀 ○09:30~ 武岡宏明
皮膚科※1	○永江祥之介	往診※3	休診	○永江祥之介	○永江祥之介	休診
呼吸器内科※2		●担当医師				
糖尿病※2		●担当医師 (第2)				●担当医師 (第1・3・4・5)
ペースメーカー※2			●光武良晃 (最終水曜日)			
心不全外来		●藤野剛雄				
消化器内科※2			●担当医師			
肝臓内科※2			●担当医師			
三島・原島診療所※2			●光武新人			
脳神経内科※2					●担当医師	
血液内科1回 /月※2				●担当医師 (第2木曜)		
睡眠時無呼吸※2					●担当医師 (第1・2・3・4金曜)	
整形外科※2						●担当医師
訪問診療※2	●光武孝倫	●光武孝倫	●光武孝倫	●光武孝倫		

※1 診療時間 8:30 ~ 17:00 急患は随時ご連絡ください。

船便の都合上、時間が前後する場合がございます。窓口でご確認をお願い致します。

※2 診療時間 9:00 ~ 16:30

※3 皮膚科の火曜日午前中病棟回診、午後往診ですが緊急時はご連絡ください。

診察医の担当表は受付正面に毎日表示しています。「担当医師」は変更になる場合もあります。詳細についてはお尋ねください。

あなたを笑顔に

3月3日は桃の節句(ひな祭り)です。
旬の野菜である「菜の花」や
縁起のいい「エビ」や「レンコン」などを取り入れ
彩り豊かなお食事となるよう心掛けています。



ひな祭りメニュー

- ・ちらし寿司
- ・煮物
- ・豚肉の角煮
- ・ポテトサラダ
- ・桜もち
- ・果物



ワンポイント

切り方の工夫 ~お雑様風ポテトサラダ~

- きゅうり…縦半分に切り、ピーラーで薄くスライスして丸めたポテトサラダの周りに巻く
- ハム…星形や花形に切りポテトサラダの上のせる
同じポテトサラダでも切り方を少し変えるだけで可愛い雛人形のようになり、ひな祭りらしくなります。
具材を変えて自分だけの作品に挑戦してみるのもいいですね♪

症状が現れる仕組み



花粉症について

○花粉症のメカニズム

身体には、体内に侵入しようとした異物を追い出すための、様々な防御機能が備わっています。くしゃみや鼻水、鼻づまりもその一種。ところが人によっては、ある特定の物質に対してそうした防御機能が過剰に反応することがあります。これをアレルギー反応といいます。花粉症は花粉が原

因でアレルギー反応が起こる病気です。花粉症の発病には、遺伝的な影響の他、自律神経が大きく関わっています。左上図は、花粉が体内に入ってから症状が現れるまでを示したものです。その引き金となるのは抗体です。抗体には、細菌やウイルスを直接攻撃して排除するタイプと、かゆみや鼻水などを介して排除するタイプがあります。自律神経が乱れると、後者のタイプが優勢になり、花粉やダニなど、それ自体は害のない物質に対しても、過剰に反応するつまり、アレルギー反応を起こすようになるのです。

○悪化を防ぐには

日本では花粉症患者が近年、急増しており、今や4人に1人が花粉症とも。その背景には、スギ林の放置によるスギ花粉の増加や食生活の変化、喫煙習慣や大気汚染などがあると考えられています。残念ながら、今のところ花粉症を完全に治す薬はなく、症状を軽減するための飲み薬

花粉から身を守る5つのポイント

- 風の強い晴れた日は外出を控える。
特に、昼前から午後3時は花粉の飛散量がピークを迎えるため、注意が必要です。
- 外出時は目・鼻・口を守る。
花粉の侵入を防ぐため、メガネやマスク、スカーフ、帽子などでガードしましょう。
- 洋服はスベスベした素材を選ぶ。
ナイロンやポリエステルのように、表面がスベスベした服は花粉が付かにくいのでお勧めです。
- 家に入る時は花粉を払い落とす。
玄関先で、衣服や髪、持ち物に付着した花粉を払うよう、習慣付けましょう。
- 帰ったら必ずうがい・手洗い。
目の洗浄も重要です。流水の中でパチパチとまばたきをして洗うと効果的です。

(おわり)

感染対策委員会より

みなさんこんにちは。今回は感染対策委員会を紹介いたします。当院での感染対策委員会は医師、外来・地域包括病棟・療養病棟からの看護師・ケアスタッフ、薬剤師、検査技師、放射線技師、リハビリ、栄養課、医事課、総務課、地域連携課の職員から構成された感染防止対策チーム、その中に医師、看護師、薬剤師、検査技師よりなるInfection control team (ICT) があります。その上位に感染防止対策委員会があり、感染防止対策チームからの活動報告を受け、検討事項の決定や各部署への伝達を行います。

感染防止対策チームは毎週院内の感染ラウンドを行い、手指消毒剤や个人防护具（PPE）のチェック、感染廃棄物のチェック、リキヤップのチェック、手洗い場周囲の環境整備、清潔区域のチェックなどを行い、不備などがあれば当該部署への指導を行います。月1回は定例会議を開催し、MRS Aなどの耐性菌の検出をチェックし、持ち込み

か院内発生かを判断します。また、手指消毒剤の使用量を部署毎に集計し、使用量の少ない部署への注意喚起、使用量が減った原因を検討します。その他、感染に関する院内のルールを検討したり、必要物品の請求を行ったりします。最低年2回は院内で感染症に関する勉強会を開催し、感染委員が講師となって手洗いや个人防护具の着脱の指導を行ったり、外部講師を招いたり、e-Learningを利用したり、感染の知識を深めたりしています。

ICTは定例会議で院内感染と判断された場合に現場に赴き、現場からの聞き取り、現状を確認し、経路の特定に努めています。また、針刺し事故の対応とそのフォローを行ったり、アウトブレイクが起きた場合は緊急感染防止対策委員会の招集を行ったりしています。院外では長崎県壱岐病院、済生会福岡総合病院を中心にICTカンファレンスを行い、壱岐島内や福岡市内での感染症の発生状況や抗

菌薬の使用量、相互の院内ラウンド、テーマを決めて各病院での対応状況を発表し検討を行っています。

以上のような活動を通して、患者さんが安心して入院生活を送れるよう、職員が安全に働けるように努めています。

(おわり)

スタッフルーム

療養病棟 ケアスタッフ 福山 里奈

父の死に思う事

令和二年八月父は僅か1年程で癌が再発し、余命宣告を受けた。遠くにいる家族や父の友人、親類に会わせてやりたかったので、サービス調整が整うと家に連れて帰った。好物を食べさせ、焼酎も飲ませてやった。次第にせん妄が出てくると、服は脱ぎオムツは外し叫ぶ事もあった。夜が特にひどかった。妹と父の最期を考える時とにかく痛みを取り除いてやりたい、それだけだった。病院に戻ってから



わり)

(お

妹と父に声かけした。父は妹には甘かった。なのに妹の顔を見ても名前が出てこなくなつた。妹の親友とテレビ電話をした時「お父さん」と呼びかけてくれたら父が笑顔で「はあい」と答えた。あの時の穏やかな顔が、今も鮮明に残っている。今も尚コロナ禍である。我々スタッフが患者と家族を繋ぐかけ橋になれればと思ふ。

令和5年4月より開始



社会医療法人玄州会
光武内科循環器科病院

〒811-5135 長崎県壱岐市郷ノ浦町郷ノ浦15-3

TEL: 0920-47-0023

FAX: 0920-47-5404



病院の最新情報は
こちらから

